



交通安全母の会と交通安全実践会が白石東地区の安全を見守るぞ

白石東地区交通安全母の会では、この度、背中に地区のマスコットキャラクター「わんこ隊長」と「ゆっきい」をあしらった安全ベストを新調しました。

母の会では古くなったベストを新しくするのに合わせて、田中会長からせっかくだから目立つ、かわいいものにしたいとい

う話があり、まちづくり協議会から地区のマスコットキャラクターを入れたらどうか提案し、取り入れていただきました。

メンバーからも好評で、令和3年度の交通安全活動にしっかりと備えています。

まちで見かけることがありましたら、ぜひ声をかけてください。

また、白石東地区交通安全実践会では、「わんこ隊長」「ゆっきい」が描かれた交通安全のリフレクター(反射板)を作成し、新1年生の交通事故防止に役立てていただくこと、地域の太谷地小学校(大宮校長)、平和通小学校(太田校長)、東白石小学校(橋本校長)に贈呈しました。

大谷地小学校とまちづくり協議会の連携した取組の中で、生徒から、交通安全の取組に「わんこ隊長」と「ゆっきい」を活用してはどうかという提案があり、それを母の会と実践会がそれぞれの形で取り入れたものです。

4月からは地区の新1年生がリフレクターを付けて元気に登校する姿を見ることができると思います。

リフレクターが生徒たちの安全を守ってくれることを願うとともに、地域全体でも子どもたちが安全に、安心して学校生活を送ることができるよう見守っていかねばいけないと思います。

皆様のご協力をお願いいたします。



第44号



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！



白石東地区まちづくり協議会 令和2年度の総括及び令和3年度の展望

白石東地区まちづくり協議会
会長 板垣 俊夫

白石東まちづくり協議会の会員の皆様には、日頃より、白石東地区のまちづくりに多大なるご理解とご協力を賜り、改めてここに感謝を申し上げる次第であります。

令和2年度は、新型コロナウイルス禍の影響により、当協議会の事業活動全体を中止する事態に至りました。

皆様方におかれましても、1年間つらい日々、そしてやむに已まれぬ決断を迫られた日々だったのではなからうかと推察するところであります。

更に追い打ちをかけるように、令和3年に入ってから、変異株ウイルスの発生が報じられるとともに、ウイルスの感染拡大が懸念され、第4波の兆しもうかがわれる状況です。

そのような中、今は令和3年度における事業執行をどうするかという判断が迫られているところでありますが、事業執行に当たっては、3密を避けること、マスク着用や室内の換気等が重要であり、新型コロナウイルス、変異株ウイルスが蔓延することなく、つづがなく各種行事を安全に遂行する必要があります。

今年は、昨年行う予定であった国際的一大イベントであり、アスリートの祭典でもありますオリンピック・パラリンピックの競技会が7月に行われる予定であります。

このオリンピック・パラリンピックがコロナウイルス禍を吹き飛ばす絶好の起爆剤になればと思わずにはいられません。

当協議会においても、少しでも事業執行が行われ、活動の輪が広がっていくことが大切ではないかと思います。魅力あるまちづくりを進め、明るい地域のコミュニティの復活を目指しつつ、人とのつながりによって生まれた数々の命綱が繋がってゆけば、未来における希望が見えてくるのではないのでしょうか。

当協議会会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

編集委員

板垣〔まち協〕・市橋〔まち協〕・長井〔体振〕・石山〔まち協〕

スタッフ
募集中

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内

TEL：011-862-0813 FAX：011-862-8694 (休館：土・日・祝日)

わんこ隊長の着ぐるみが完成

白石東地区のマスコットキャラクターといえば「白石東鉄砲隊 わんこ隊長」と「白石東雪の精 ゆっきい」ですが、この度、わんこ隊長の着ぐるみが完成しました。

着ぐるみは白石区に本店のある洋菓子店「きのとや」さんからさぼーとほっと基金へ受けた寄附を活用して、白石東まちづくり協議会が製作しました。

実際に見た人からは「かわいい!」「完成度が高い!」と好評です。

地域のイベントでどんどん皆さんと交流する予定でしたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で地域のイベントが軒並み中止となり、なかなか皆さんにお会いできません。

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、皆さんとお会いできる機会がたくさん増えることを願っています。



まちづくり協議会と大谷地小学校が連携して

「わんこ隊長」と「ゆっきい」の知名度アップの取組を実施

大谷地小学校の総合的な学習の時間で4年生の生徒が、地域のマスコットキャラクター「白石東鉄砲隊 わんこ隊長」と「白石東雪の精 ゆっきい」の活用方法を考え、白石東まちづくり協議会に提案していただきました。

きっかけは、大谷地小学校において、今年度は新型コロナの影響で、地域との交流や、地域のことを学ぶ機会が不足していると感じた大宮校長先生から、令和2年9月頃に白石東地区町内会連合会の高島女性部長に子どもたちに白石音頭を教えてもらえないかと相談があったことです。

町連女性部から高島部長を始め6人が大谷地小学校を訪れ、4年生を対象に白石音頭を披露し、生徒たちも一緒に踊りました。



その様子を見ていた白石東まちづくりセンター所長から、地域の困りごとを子どもたちに相談してはどうかと白石東地区まちづくり協議会に提案があり、大谷地小学校の先生たちとまちづくり協議会の板垣会長、市橋情報発信プロジェクトリーダー、白石東まちセンター所長が相談して、せっかくある地域のマスコットキャラクター「わんこ隊長」「ゆっきい」の活用方法を生徒たちに考えてもらったら良いのではということになりました。

11月には、まちセン所長が大谷地小を訪れ、4年生に、「地域ではマスコットキャラクターの活用方法に頭を悩ませている、いいアイデアはないだろうか」と相談し、生徒たちはすぐに課題解決のため力を貸してくれることとなりました。

12月、白石東会館で、生徒たちは一生懸命考えた課題解決策を緊張しながらプレゼンし、ポスターを作ったら良いのではないかと、絵かき歌を作ったら良いのではないかと、4コマまんがで宣伝しては?など、限られた時間でとても素晴らしいアイデアをたくさん考え、提案してくれました。



提案があったアイデアの中で、そのまま印刷できそうなデザインについては、まちづくり協議会でポスターを作成し、郵便局や公共施設などに掲示依頼しました。

また、ぬりえで宣伝したら良いのではないかとアイデアには、生徒たちが書いてくれた絵を使って早速作成し、地域の児童会館やデイサービス事業所などにお配りして、活用していただいています。

地域の活性化のため子どもたち自身がキャラクターの活用方法を考え、地域に提案し、まちづくり協議会がそれを形にすることで、子どもたちに白石東地区のまちづくりに積極的に携わってもらう機会となり、子どもたちと地域がかかわる大変有意義な取組となりました。

新型コロナウイルスの影響で、様々なイベントが中止となり、地域にとっては残念なこともありましたが、逆にそのようなときだからこそ、普段は難しいこのような取組を行うことができたと思います。

ご協力いただいた大谷地小学校のみなさん、ポスター掲示やぬりえなどの活用にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

なお、ぬりえやポスターは多少在庫がありますので、事業所に掲示をしたい、施設などで活用したいとお考えの方がいましたら、白石東まちづくりセンターにご相談ください。